

# 国土形成計画(全国計画) 素案の概要

---

令和5年4月19日

# 新たな国土形成計画(全国計画) 素案(概要)

## 新たな国土の将来ビジョン

計画期間：2050年さらにその先の長期を見据えつつ、今後概ね10年間

### 時代の重大な岐路に立つ国土 《我が国が直面するリスクと構造的な変化》

#### 地域の持続性、安全・安心を脅かすリスクの高まり

- ・未曾有の人口減少、少子高齢化がもたらす地方の危機
- ・巨大災害リスクの切迫(水災害の激甚化・頻発化、巨大地震、津波、火山噴火、雪害等)
- ・気候危機の深刻化(2050年カーボンニュートラル)、生物多様性の損失

#### コロナ禍を経た暮らし方・働き方の変化

- ・テレワークの進展による転職なき移住等の場所にとらわれない暮らし方・働き方
- ・新たな地方・田園回帰の動き、地方での暮らしの魅力

#### 激動する世界の中での日本の立ち位置の変化

- ・DX、GXなど激化する国際競争の中での競争力の低下
- ・エネルギー・食料の海外依存リスクの高まり
- ・東アジア情勢など安全保障上の脅威の拡大

豊かな自然や文化を有する多彩な地域からなる国土を次世代に引き継ぐための**未来に希望を持てる国土の将来ビジョンが必要**

### 目指す国土の姿 「新時代に地域力をつなぐ国土 ～列島を支える新たな地域マネジメントの構築～」

#### デジタルとリアル融合による 活力ある国土づくり

～地域への誇りと愛着に根差した地域価値の向上～

#### 巨大災害、気候危機、緊迫化する国際情勢に対応する 安全・安心な国土づくり

～災害等に屈しないしなやかで強い国土～

#### 世界に誇る美しい自然と多彩な文化を育む 個性豊かな国土づくり

～森の国、海の国、文化の国～

国土づくりの戦略的視点 ①民の力を最大限発揮する官民連携 ②デジタルの徹底活用 ③生活者・利用者の利便の最適化 ④縦割りの打破(分野の垣根を越える横串の発想)

※南北に細長い日本列島における国土全体での連結強化  
※広域レベルからコミュニティレベルまで重層的な圏域形成

### 国土構造の基本構想 「シームレスな拠点連結型国土」

デジタルの徹底活用による場所や時間の制約を克服した国土構造への転換

〈広域的な機能の分散と連結強化〉  
階層間のネットワーク強化  
〈持続可能な生活圏の再構築〉

- ◆ 中枢中核都市等を核とした広域圏の自立的発展、日本海側・太平洋側二面活用等の広域圏内・広域圏間の連結強化を図る「全国的な回廊ネットワーク」の形成
- ◆ リニア中央新幹線、新東名・新名神等により三大都市圏を結ぶ「日本中央回廊」(仮称)の形成による地方活性化、国際競争力強化
- ◆ 生活に身近な地域コミュニティの再生(小さな拠点を核とした集落生活圏の形成、都市コミュニティの再生)
- ◆ 地方の中心都市を核とした市町村界にとらわれない新たな発想からの地域生活圏の形成

- 東京一極集中の是正(地方と東京のwin-winの関係構築)
- 国土の多様性(ダイバーシティ)、包摂性(インクルージョン)、持続性(サステナビリティ)、強靱性(レジリエンス)の向上

《国土の刷新に向けた重点テーマ》

### デジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成

- 「地方の豊かさ」と「都市の利便性」の融合
- 生活圏人口10万人以上を一つの目安として想定した地域づくり(地域の生活・経済の実態に即した市町村界にとらわれない地域間の連携・補完)
- 「共」の視点からの地域経営(サービス・活動を「兼ねる、束ねる、繋げる」発想への転換)
  - ✓ 主体の連携、事業の連携、地域の連携
- デジタルの徹底活用によるリアルな地域空間の質的向上
  - ✓ デジタルインフラ・データ連携基盤・デジタル社会実装基盤の整備、自動運転、ドローン物流、遠隔医療・教育等のデジタル技術サービスの実装の加速化
  - ✓ 地域交通の再構築、多世代交流まちづくり、デジ活中山間地域、転職なき移住・二地域居住など、デジタル活用を含めたリアル空間での利便性向上
- 民の力の最大限活用、官民パートナーシップによる地域経営主体の創出・拡大

相互連携による相乗効果の発揮

### 持続可能な産業への構造転換

- GX、DX、経済安保等を踏まえた成長産業の全国的分散立地等
- 既存コンビナート等の水素・アンモニア等への転換を通じた基幹産業拠点の強化・再生
- スタートアップの促進、働きがいのある雇用の拡大等を通じた地域産業の稼ぐ力の向上 等

### グリーン国土の創造

- 広域的な生態系ネットワークの形成、自然資本の保全・拡大、持続可能な活用(30by30の実現、グリーンインフラの推進等を通じたネットワーク化)
- カーボンニュートラルの実現を図る地域づくり(地域共生型再エネ導入、ハイブリッドダム等) 等

### 人口減少下の国土利用・管理

- 地域管理構想等による国土の最適利用・管理、流域治水、災害リスクを踏まえた住まい方
- 所有者不明土地・空き家の利活用の円滑化等、重要土地等調査法に基づく調査等
- 地理空間情報等の徹底活用による国土の状況の見える化等を通じた国土利用・管理DX 等

地域の安全・安心、暮らしや経済を支える  
**国土基盤の高質化**

- 防災・減災、国土強靱化、生活の質の向上、経済活動の下支え [機能・役割に応じた国土基盤の充実・強化]
- 戦略的マネジメントの徹底によるストック効果の最大化

- ✓ DX、GX、リダンダンシー確保、安全保障、自然資本との統合等の観点からの機能高度化
- ✓ 賢く使う観点からの縦割り排除による複合化・多機能化・効果最大化
- ✓ 地域インフラ群再生戦略マネジメント等の戦略的メンテナンスによる持続的な機能発揮

**地域を支える人材の確保・育成**

- 包摂的社会に向けた多様な主体の参加と連携
- こども・子育て支援、女性活躍
- 関係人口の拡大・深化

### 分野別施策の基本的方向

- 地域の整備(コンパクト+ネットワーク、農山漁村、条件の厳しい地域への対応等)
- 産業(国際競争力の強化、エネルギー・食料の安定供給等)

- 文化及び観光(文化が育む豊かで活力ある地域社会、観光振興による地域活性化等)
- 交通体系、情報通信体系及びエネルギーインフラ

- 防災・減災、国土強靱化
- 国土資源及び海域の利用と保全(農地、森林、健全な水循環、海洋・海域等)
- 環境保全及び景観形成

### 計画の効果的推進 広域地方計画の策定・推進

- 地理空間情報等を活用したマネジメントサイクルと評価の実施
- 広域地方計画協議会を通じた広域地方計画の策定・推進

新しい資本主義、デジタル田園都市国家構想の実現

## 新時代に地域力をつなぐ国土

～列島を支える新たな地域マネジメントの構築～

### 地方の危機的状況

未曾有の人口減少、少子高齢化の加速等による地方衰退への悪循環

- ✓ 危機・難局に直面する**地方を重視**し、新たな時代へと刷新
- ✓ 各地域の**地域力を結集**し、**国土全体でつなぎ合わせ、未来へとつなげる**

## 地域力

地域課題を克服する**守りの力**



地域の魅力を高め人々を惹きつける**攻めの力**

地域の総合力・底力を最大限に発揮

### 地域を担う人材の主体的・内発的な地域づくり

地域に対する**誇りと愛着**を原動力とした、地域に暮らし、関わる、住民等の多様な主体の参加と連携

### 有形無形の地域資源を総動員

自然環境、  
景観、風土

歴史、  
文化・伝統

生活サービス、  
産業

国土基盤

生態系  
サービス

縦割り分野ごとの  
地方公共団体での  
対応だけでは限界



### 地域マネジメントのパラダイムシフト

《新たな発想からの地域マネジメントの構築》

- 「共」の視点からの主体・事業・地域間の連携
- デジタルの徹底活用

◆ 地方に**活力**を取り戻し、**安全・安心**で、**個性豊かな地域**を全国に広げる

◆ 未来を担う若者世代を含め、人々を惹きつける地域の**魅力**を高め、**地方への人の流れ**を創出・拡大

国土全体にわたる各地方の**地域力の結集**なくして、日本の未来はない

## 新時代に地域力をつなぐ国土

～列島を支える新たな地域マネジメントの構築～

### デジタルとリアルの融合による 活力ある国土づくり

～地域への誇りと愛着に根ざした地域価値の創造～

#### ○ローカルの視点(地方創生×デジタル)

- デジタルの徹底活用により、場所と時間の制約を超え、多様な暮らし方や働き方を自由に選択できる地域社会の形成による個人と社会全体のWell-beingの向上
- リアルとデジタルの融合による先端技術サービスの実装の加速化
- コンパクト+ネットワークによる持続可能な地域づくり(都市・地域空間のコンパクト化と地域交通の再構築)
- 地域産業の効率性・生産性・持続性の向上 等

#### ○グローバルの視点(DX,GX,国内外ネットワーク強化等を通じた国際競争力の強化)

- 成長産業への構造転換・投資促進、産学官連携によるスタートアップ、イノベーションの促進
- リニア中央新幹線により三大都市圏を1時間で結ぶ新たな交流圏の形成の効果・魅力を活かした我が国の成長を牽引する国際競争力の強化
- 世界と各地域との直接交流の拡大、地方発のグローバル産業・人材の育成 等

### 巨大災害、気候危機、緊迫化する国際情勢に対応する 安全・安心な国土づくり

～災害等に屈しない強靱な国土～

#### ○巨大災害から国民の命と暮らしを守る 防災・減災,国土強靱化

- 巨大地震・津波、火山噴火、水災害、雪害等に対する事前防災、事前復興の観点からの地域づくり
- 災害ハザードエリアにおける開発抑制とより安全な地域への居住誘導
- 予防保全型インフラメンテナンス 等

#### ○気候変動対策の主流化

- 2050年カーボンニュートラル、2030年度46%削減目標の実現に向けた地球温暖化緩和策の推進
- 気候変動適応策の推進 等

#### ○緊迫化する国際情勢への対応

- エネルギーの安定供給、食料安全保障の強化
- 経済安全保障の観点からの基幹的なインフラの安全性・信頼性の確保
- 安全保障環境上の課題の深刻化に対する国土基盤の機能高度化
- 有人国境離島地域の保全、重要土地等調査法に基づく調査等の実施 等

### 世界に誇る美しい自然と多彩な文化を育む 個性豊かな国土づくり

～森の国、海の国、文化の国～

#### ○ネイチャーポジティブの実現に向けた 自然資本の保全・拡大を通じた自然と 共生する地域づくり

- 30by30目標の実現や森・里・まち・川・海のつながりを確保した広域的な生態系ネットワークの形成
- SDGsやNbSの考え方に根差したグリーンインフラやEco-DRRの取組の推進 等

#### ○多様な恵みを楽しむ森づくり,海づくり

- 森林の適正な管理と森林資源の持続的な利用
- 海洋の持続可能な利用・開発 等

#### ○文化芸術立国の実現

- 文化芸術の活用を通じた地域活性化 等

#### ○地域の自然,文化の魅力を活かした観光振興

- 自然、文化の保全と観光の両立を図る持続可能な観光地域づくりの推進
- コロナ禍で激減したインバウンドの回復、国内旅行需要の喚起 等

## 国土づくりの基本的視点

### 民の力を最大限発揮する 官民連携

- ✓ 住民、NPO等地域団体、企業、大学等と行政の連携により、地域を共に創る
- ✓ 個人や企業等の意識・行動の変容を促す

### デジタルの徹底活用

- ✓ 場所や時間の制約を克服したサービスや活動による地域課題解決
- ✓ 分野の垣根を越えたデータ連携とデジタル技術の社会実装の加速化

### 生活者・利用者の 利便の最適化

- ✓ 個人と社会全体のWell-beingの増大に向けた生活者・利用者目線での地域課題解決

### 縦割りの打破

(分野の垣根を越えた横串の発想)

- ✓ 分野間での情報共有や連携により、共通課題解決に向けたプラットフォームの構築等



## 新時代に地域力をつなぐ国土

～列島を支える新たな地域マネジメントの構築～

国土全体にわたる人口や諸機能の配置のあり方等に関する

### 国土構造の基本構想

## シームレスな拠点連結型国土

- 国土全体にわたって、広域レベルでは**人口や諸機能を分散**
- 広域レベルからコミュニティレベルまで、**重層的な生活・経済圏域**の形成
- 各階層の圏域において、可能な限り**諸機能を多様な地域の拠点に集約し**、水平的・垂直的・多面的な**ネットワーク化**
- **デジタルとリアルの融合**により、**時間や場所の制約を克服**し、行政界を越えて、暮らしや経済の実態に即し、サービスや活動が継ぎ目なく展開

**人と人、人と地域、地域と地域が、質の高い交通やデジタルのネットワークでシームレスにつながり合う国土構造の構築**

⇒ 《「コンパクト+ネットワーク」をさらに進化・発展》

**東京一極集中の是正**

地方と東京の  
win-winの関係構築

国土の

多様性(ダイバーシティ)  
包摂性(インクルージョン)  
持続性(サステナビリティ)  
強靱性(レジリエンス)  
の向上

### 重層的な国土構造における地域整備の方向性

#### <広域的な機能の分散と連結強化>

- ◆ 中枢中核都市等を核とした**広域圏の自立的発展**
- ◆ 日本海側・太平洋側二面活用等の広域圏内・広域圏間の連結強化を図る**「全国的な回廊ネットワーク」の形成**
- ◆ 三大都市圏を結ぶ**「日本中央回廊」(仮称)の形成**による地方活性化、国際競争力強化

#### <生活圏の再構築>

- ◆ 生活に身近な**地域コミュニティの再生**(小さな拠点を核とした集落生活圏の形成、都市コミュニティの再生)
- ◆ 地方の中心都市を核とした市町村界にとらわれない新たな発想からの**地域生活圏の形成**

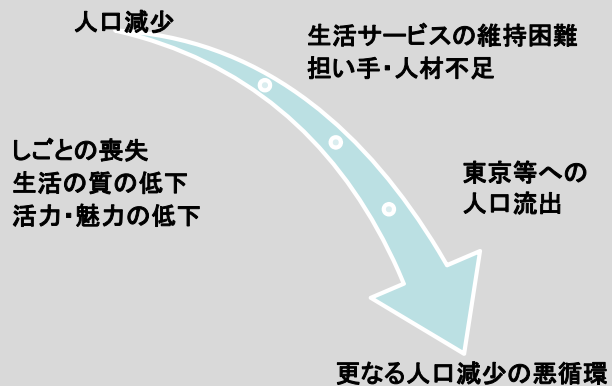
# デジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成(基本的考え方)

人口減少、少子高齢化が加速する地方において、人々が安心して暮らし続けていけるよう、地域の文化的・自然的一体性を踏まえつつ、生活・経済の実態に即し、市町村界に捉われず、官民のパートナーシップにより、デジタルを徹底活用しながら、暮らしに必要なサービスが持続的に提供される地域生活圏を形成し、地域課題の解決と地域の魅力向上を図る。

## 地方の危機

### 人口減少・流出と地域の利便性低下の悪循環

- ✓ 人口減少の荒波が、これまでの小規模都市から地方の中心的な都市へと拡大
- ✓ 地域の暮らしを支える中心的な生活サービス提供機能が低下・喪失するおそれ
- ✓ 縦割りの分野、地方公共団体での対応だけでは限界



⇒豊かな自然、文化を有する地域の多様性の喪失

## 新たな発想からの地域生活圏の形成 ～人口減少下でも持続可能で活力ある地域づくり～

### 「共」の視点からの地域経営

(サービス・活動を「兼ねる、束ねる、繋げる」発想への転換)

- ✓ 地域を共に創る発想から、主体、事業、地域の境界を越えた連携・協調の仕組みをボトムアップで構築
  - 主体の連携(官民パートナーシップ、関係人口の拡大・深化)
  - 事業の連携(分野の垣根を越える、シェアリング)
  - 地域の連携(市町村界に捉われない、機能・役割の分担・連携)

### デジタルの徹底活用によるリアルの地域空間の質的向上 (地方創生×デジタル)

- ✓ デジタル技術を活用した生活サービス提供の効率化・自動化等により、リアル地域空間の生活の質の維持・向上を図るとともに、担い手・人材不足をカバー
- ✓ 生活者、利用者目線でサービスの利便性を向上させる技術実装
  - ハード・ソフト両面でのデジタルインフラ、データ連携基盤、デジタル社会実装基盤等の強化
  - 地域交通の再構築、自動運転、ドローン物流、遠隔医療、遠隔・オンライン教育など、先端技術サービスの社会実装等

## 「地方の豊かさ」と「都市の利便性」の融合

(地域特有の文化や自然を活かした魅力の向上 + 地域課題の解決)

個人と地域全体の  
Well-beingの向上

多様性に富む活力ある  
地方の創生

地方への人の流れの創出  
東京一極集中の是正

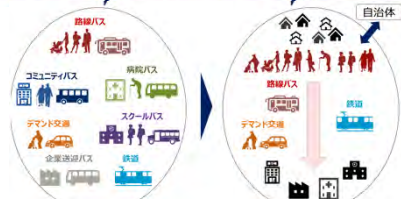
- ◆地方における新しい資本主義の実現
- ◆デジタル田園都市国家構想の実現

# 「地域生活圏」の形成で変わる地域の姿(イメージ)

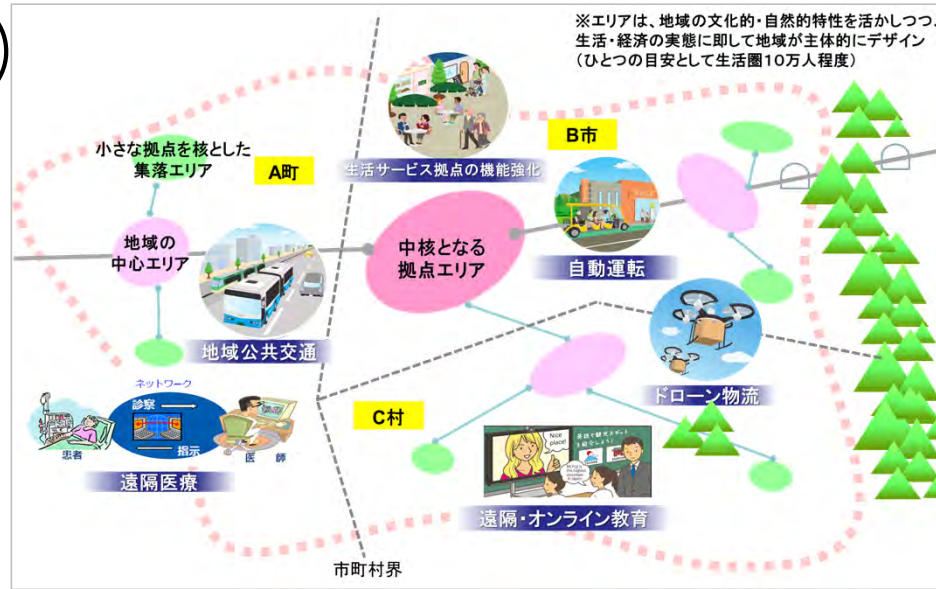
地域をつなぐ持続的な  
モビリティ社会の実現

## 地域公共交通のリ・デザイン

交通手段が重複 → ネットワークの統合 → エリア一括協定運行



交通DX・GXや、地域の関係者との共創を通じ、地域公共交通ネットワークの利便性・持続可能性・生産性を向上  
⇒地域公共交通特定事業実施計画の認定:2027年度までに300件



まちでも中山間地域でもデジタル  
活用で安心・便利な暮らし

## 「デジ活」中山間地域



スマート農業、ドローン物流等を組み合わせたプロジェクトを実現  
⇒2027年度までに全国150か所以上

## 多世代交流まちづくり



居心地が良く歩きたくなるまちなかづくり、建築・都市のDX  
⇒2027年度までに3D都市モデルの整備都市500都市

## 転職なき移住・二地域居住等



テレワークの普及等による地方への人の流れの創出・拡大、空き家等の活用促進

## 地域を支える人材の確保・育成

包摂的社會、こども・子育て支援、女性活躍、関係人口の拡大・深化

## 自動運転



地域限定型の自動運転移動サービスの実現

⇒50か所程度(2025年度目途)、100か所以上(2027年度まで)

## デジタル基盤の整備・活用

- ◆ 5G、光ファイバ等のデジタルインフラ、データ連携基盤
- ◆ 自動運転・ドローン物流等の実装を支えるデジタルライフライン(センサー、乗換え・積替え拠点等)

## 遠隔医療



住民に身近な場所を活用した遠隔医療

⇒国の補助事業により遠隔医療を実施する医療機関:235件(2023~2027年度累計)

## 新たな発想からの地域マネジメント

➤「共」の視点からの主体・事業・地域間の連携  
(官民パートナーシップによる地域経営)

➤デジタルの徹底活用による地域空間の質的向上

「地方の豊かさ」と「都市の利便性」の融合 → 全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会



# 地域生活圏の推進主体・体制の考え方

- 生活者や利用者などサービス需要側の視点に立って、利便性を最適化できるよう、地域の生活・経済の実態に応じて、効率的・持続的なサービス提供を実現するための官民のパートナーシップを構築していく必要。
- 地域課題の解決に資する公共性の高い生活サービスの提供において、民間の力を最大限に活用する仕組みを構築。ドイツのシュタットベルケ等の事例や、我が国の地方での先進的な取組を参考に、日本版のいわゆるローカルマネジメント法人といった推進主体の創出につなげていく必要。

推進主体・体制の構築に向けたポイント

- ✓ 「共」の視点での地域経営を支える官民パートナーシップの形成
- ✓ 公共性の高いサービスの提供に対する民間事業者の参入促進
- ✓ 「兼ねる・束ねる・繋げる」発想でのサービスの複合化、地域内経済循環の構築

## 地域生活圏の形成に関連する取組事例イメージ

### デジタル情報プラットフォームを通じたスマートシティの取組 (福島県会津若松市)

- デジタル情報プラットフォーム「会津若松+」(都市OS)の構築
- 公共性とビジネス継続性を両立する地域マネジメント法人として、(一社)AiCTコンソーシアムを設立
- 食・農業、観光、ヘルスケア等のサービス実証・実装



### 民間主導でのエネルギー 地産地消と地域内資金循環 (鳥取県米子市・境港市)

- 両市と地元民間企業5社が出資する地域エネルギー会社(ローカルエナジー株)を設立
- 地域共生型のエネルギー地産地消モデルを構築(地域でお金が回る仕組み)
- 災害時には、避難所の蓄電池を非常用電源として活用し、防災力強化に寄与



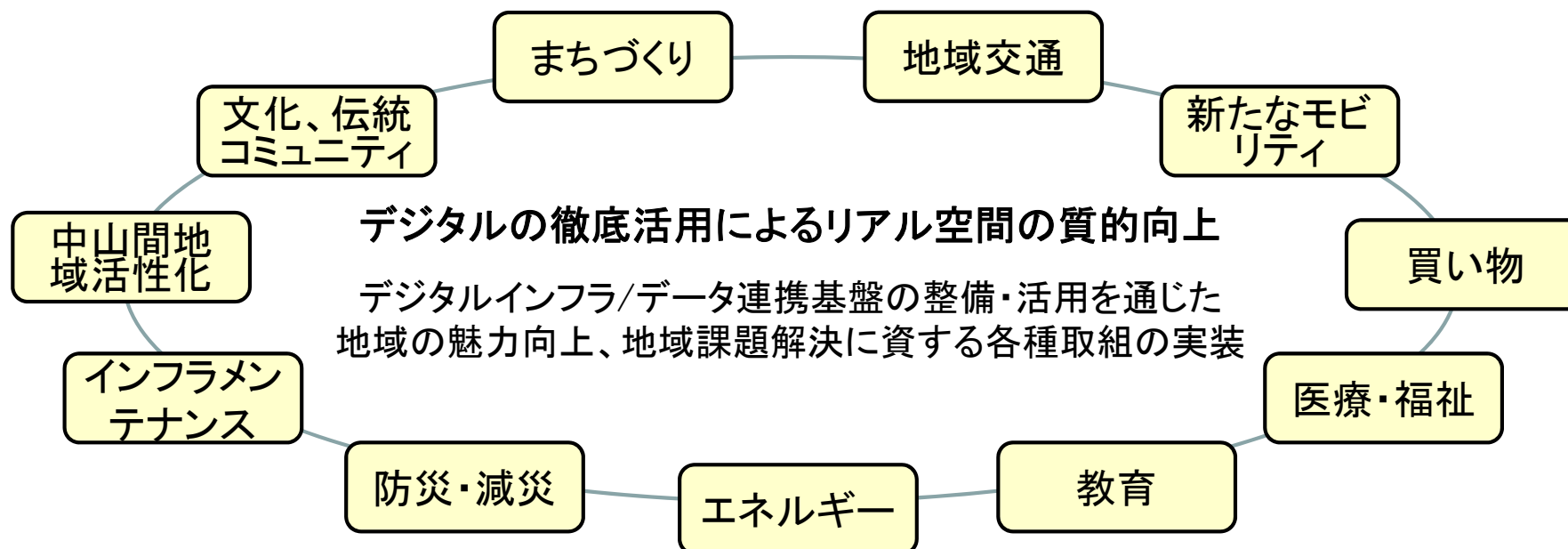
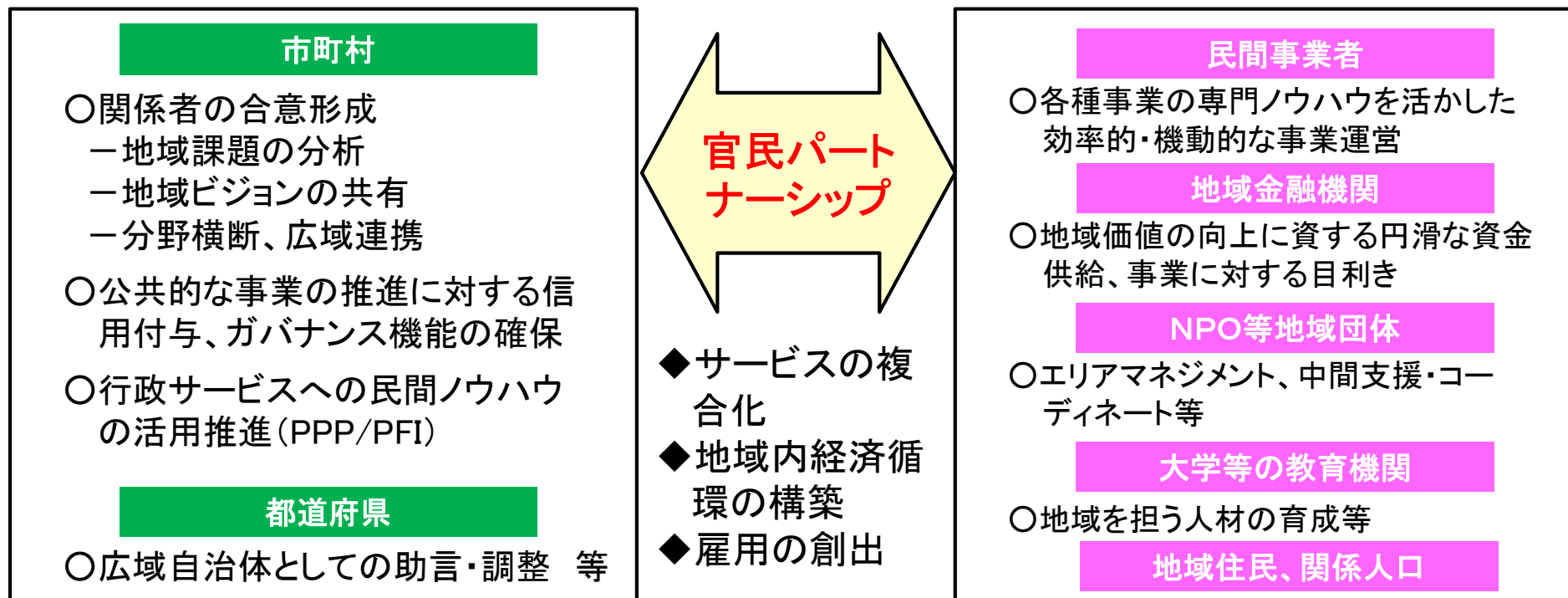
### デジタルを活用した新たな共助の仕組みの構築 (香川県三豊市)

- 地元企業を含む民間企業が協力する「共助」により、地域交通を暮らしの基盤となる他のサービスと一体的に提供
- 地域内外の企業12社の出資により、地域交通の運営カンパニー(SPC)を設立
- スマホアプリを活用したAIオンデマンド交通サービスを展開(定額乗り放題等)





# 地域生活圏の形成に関連する関係主体のイメージ



# 持続可能な産業への構造転換(主な取組イメージ)

## 我が国産業をめぐる構造変化

脱炭素型産業への円滑な移行  
グリーン・トランスフォーメーション(GX)の実行

デジタル社会への対応  
デジタル・トランスフォーメーション(DX)の実行

経済安全保障  
への対応

### 地域の特徴を活かした 成長産業の全国的な分散立地等の促進

#### ◆ 成長産業の国内生産拠点の形成・強化

- ▶ 各地域が有する産業集積や産業基盤の優位性を活かし、企業の立地戦略等も踏まえ、半導体や蓄電池等の成長産業の生産拠点を整備・強化
- ▶ 成長産業の国内立地を支えるインフラの円滑かつ機動的な整備、産業用地の円滑かつ迅速な確保



高度な半導体工場の国内立地



バイオで生み出される製品  
(山形県鶴岡市Spiber社)

#### ◆ (全国)のDX対応を支えるデータセンターの分散立地

#### ◆ 洋上風力発電の導入、関連産業集積の促進

### GXや巨大災害リスク対応に向けた コンビナート等の基幹産業拠点の強化・再生

- ▶ 太平洋ベルト地帯に集積する臨海コンビナート等のCO2多排出産業のGX成長投資の促進+巨大災害リスク対応
- ▶ 水素・アンモニア等の国際サプライチェーンの拠点となるカーボンニュートラルポート(CNP)の形成など、インフラ整備や規制の合理化・適正化
- ▶ 産業設備の廃止・縮小に伴い発生する大規模な跡地の有効活用と必要なインフラ整備



アンモニア混焼実証事業が行われる  
愛知県碧南火力発電所 出典: JERA資料から国土交通省作成



カーボンニュートラルポートの形成に向けた検討(山口県:徳山下松港)

出典: 総合エネルギー調査会資料

# グリーン国土の創造(主な取組イメージ)

## 自然資本に対する国際的な認識の高まり

生物多様性の主流化  
ネイチャーポジティブの実現(30by30)

気候変動対策の主流化  
2050年カーボンニュートラルの実現

### 30by30による 健全な生態系の保全・再生の促進

#### ◆ 広域的な生態系ネットワークの形成促進

- 森・里・まち・川・海のつながりを確保し、広域レベルで自然資本の量的拡大・質的向上を図る(OECMの設定・管理の促進等)
- 自然を活用した解決策(Nature-based Solutions: NbS)の発想に即したグリーンインフラによる複合的な地域課題の解決



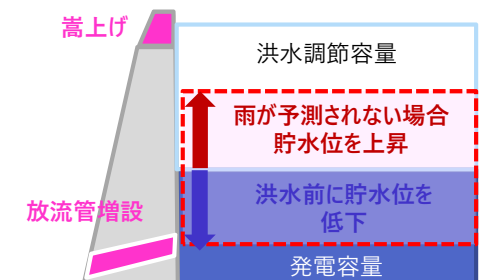
広域的な生態系ネットワークの形成イメージ

### カーボンニュートラルの実現を図る地域づくり

- 地域の脱炭素化に向けた脱炭素先行地域の創出、くらし・まちづくり・交通・インフラ・農林水産業等におけるグリーン化の推進
- CO2吸収等の多面的機能を有する森林資源の循環利用の確立に向けた「都市(まち)の木造化」等の推進
- 地域共生型再エネ導入の促進、ハイブリッドダムを展開など、緩和策・適応策・生態系保全を統合した地域づくりの推進



公共建築物での木材利用の事例  
(山形県西置賜郡白鷹町)



ハイブリッドダムのイメージ



# 人口減少下の国土利用・管理(主な取組イメージ)

## 人口減少下での国土の管理水準の悪化、非効率な土地利用の増大

所有者不明土地、空き家、荒廃農地、  
手入れが不十分な森林等

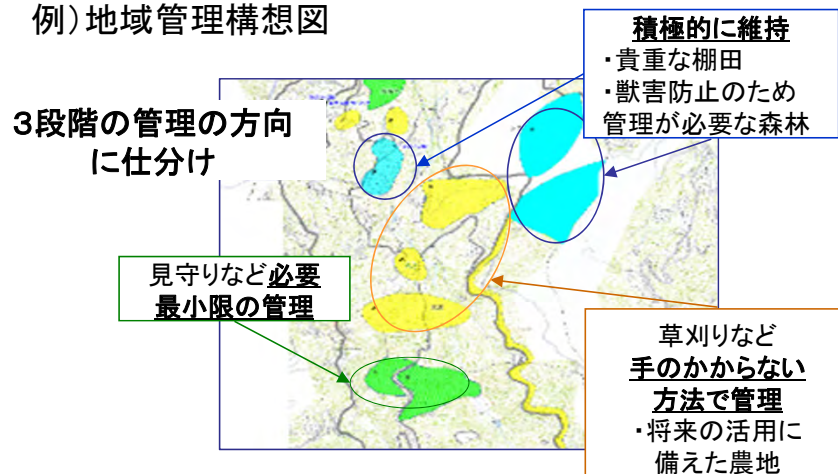
災害リスクの高い地域における人口集中

### 持続可能な国土と地域の形成に資する 最適利用・管理

#### ◆ 「国土の管理構想」の具体化

- 住民発意と合意形成に基づき将来像を見据えて土地の管理方法の転換等を図る地域管理構想の全国展開

例) 地域管理構想図



- ◆ 所有者不明土地、空き家の発生予防、利活用の円滑化、適切な管理の確保
- ◆ 荒廃農地、手入れが不十分な森林の発生防止・解消

### 安全・安心な国土利用・管理

- あらゆる関係者が協働して流域全体で行う総合的かつ多層的な水災害対策である「流域治水」の推進
- 災害リスクの高い地域における開発抑制とより安全な地域への居住誘導



流域治水の推進

# 地域の安全・安心、暮らしや経済を支える国土基盤の高質化

○国土基盤が果たすべき機能・役割が最大限に発揮されるよう、**安定的・持続的な公共投資の見直し**を持ち、計画的な整備や維持管理更新、効果的活用を通じてストック効果を最大化

## 国土基盤の機能・役割の最大限の発揮(機能・役割に応じた国土基盤の充実・強化)

### 地域の安全・安心を支える

- 切迫する巨大地震・津波、火山噴火、激甚化・頻発化する水災害、雪害等から国民の命と暮らしを守ることは最重要の使命。
- 国土強靱化基本計画に基づき、中長期的かつ明確な見通しの下、継続的・安定的に防災・減災、国土強靱化の取組を進める。
  - 治山治水対策等による国土保全インフラの充実・強化
  - 流域治水の推進
  - 災害に強い国土幹線道路ネットワークや幹線鉄道ネットワーク、海上輸送ネットワーク等の構築
  - 国土基盤の耐震化・耐災害性強化 等



五ヶ瀬川の河川改修

### 地域における生活の質を向上する

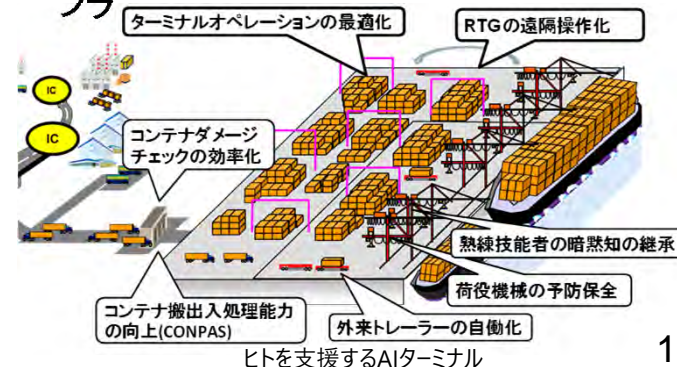
- 人口減少下においても地方において人々が安心して暮らし続けていくことができるようにする必要。
- 地域生活圏の形成に向けた取組とも連動し、生活者の視点を重視して、デジタルの徹底活用を図りつつリアルな地域空間の質的向上を図る。
  - 病院、社会福祉施設、学校、社会教育施設、公営住宅、上下水道、公園等の生活インフラの充実・強化



「居心地が良く歩きたくなる」空間の創出

### 経済活動を下支えし、生産性を高める

- 持続的な経済成長を実現するため、生産性の向上に資する移動時間の短縮や定時性の向上、生産活動の効率化や高度化等により民間投資を誘発し、様々な経済活動を下支えする。
- 例えば、成長産業の国内立地等の企業の立地戦略に即した取組や、観光産業、農林水産業等の地域産業の稼ぐ力の向上を図る取組を機動的に下支え。
  - 道路、港湾、空港、鉄道等の交通インフラ
  - 光ファイバ、5G、データセンター等のデジタルインフラ
  - 送配電網、電力系統等のエネルギーインフラ



ヒトを支援するAIターミナル



# 地域の安全・安心、暮らしや経済を支える国土基盤の高質化

計画的な整備、維持管理更新、効果的活用を通じた

## 国土基盤の高質化に向けた戦略的マネジメントの徹底

※縦割りの排除、官民連携による多面的・複合的な取組を通じた国土基盤のストック効果最大化

### 社会経済状況の変化に応じた国土基盤の機能高度化

#### <DX>

- デジタル社会を支える国土基盤の強化(光ファイバ・5G等のデジタルインフラ、デジタル社会実装基盤等)
- 国土基盤におけるデジタル活用(自動運転を支援する道路、ヒトを支援するAIターミナル、水門等の操作の自動化・遠隔化等)
- 整備・管理におけるデジタル活用(i-Construction等)

#### <GX>

- 脱炭素社会を支える国土基盤の強化(再エネ導入のための電力系統等のエネルギーインフラ、カーボンニュートラルポート等)
- 国土基盤の脱炭素化(省エネ・省CO2設備導入、公共施設のZEB化等)
- 整備・管理における脱炭素化(CO2吸収コンクリート、GX建設機械(電動等)等)

#### <リダンダンシー確保を含めたネットワーク強化>

- 交通、情報通信、エネルギー等の全国的な強靱なネットワーク機能の強化

#### <安全保障>

- 経済安全保障等の観点からのサプライチェーンを支える国土基盤の強化、国家安全保障戦略等を踏まえた空港・港湾等の公共インフラの整備と利用調整、貨物鉄道ネットワークの強化等

#### <自然資本と統合した効果活用>

- グリーンインフラ(公園緑地、流域治水における遊水地・「田んぼダム」等)

#### <PPP/PFIの活用促進>

- コンセッション(空港、上下水道、工業用水道、道路、教育施設等)等のPPP/PFIの活用拡大

### 賢く使う観点からの 国土基盤の複合化・多機能化・効果最大化

- 縦割り排除による複合的・多目的活用(ハイブリッドダム、下水汚泥のエネルギー・肥料利用、公的賃貸住宅団地再生による福祉拠点化、国土基盤の空間を活用した再エネ導入等)
- 災害時における防災・減災機能の発揮(利水ダム等における治水利用、学校施設、公園緑地及びため池等を活用した流域の雨水貯留浸透機能の維持・向上、「道の駅」の防災拠点化、港湾を活用した支援物資輸送や被災者輸送等の災害対応支援等)
- ソフト施策と組み合わせた効果最大化(地域活性化に向けた利用しやすい高速道路料金の実現、MaaS等の活用による交通施設の利便性向上、流域治水の推進等)

### 戦略的メンテナンスによる 国土基盤の持続的な機能発揮

- 予防保全型メンテナンスへの本格転換(メンテナンスサイクルの構築・実行による計画的な点検・診断・修繕・更新等)
- 広域的・戦略的なマネジメント(地域インフラ群再生戦略マネジメント等)
- 新技術・官民連携手法の普及によるメンテナンスの高度化・効率化(ドローンやセンサー等を用いた点検等)
- 集約・再編等によるストックの適正化(公共下水道・農業集落排水等の統合、港湾におけるふ頭再編等)
- 多様な主体の連携・協力によるメンテナンス体制の構築(市町村支援・中長期派遣体制の強化等)



# 地域を支える人材の確保・育成(人と国土の関係性の再構築)

- 人口減少・流出が加速している中、地域づくりを担う人材の不足は深刻な課題。若者、女性、高齢者、障害者、外国人など、多様な人材の地域づくりへの参加を図っていくことは、将来にわたって地域づくりを担う人材を確保してだけでなく、誰もが生きがいを持てる包摂的な社会の形成にとって重要。
- 地域におけるこども・子育て政策の強化や女性活躍の推進、関係人口の拡大・深化の取組とも相まって、人々の多様化する価値観に応じた暮らし方・働き方の選択肢を広げることは、地方への人の流れの創出・拡大、我が国全体の少子化の流れを変える観点からも重要。こどもまんなか社会を地域全体で支えていくことは、地域人材を確保していくうえでの柱。
- 多様性に富む包摂的な社会の実現に向け、地域づくりへの多様な主体の参加と連携を促進する取組を進めるとともに、民間の力を最大限活かした新しい公共の領域拡大を図り、地域力を高める必要がある。

## 包摂的社会に向けた地域づくりへの多様な主体の参加と連携

### 包摂的社会の実現、地域におけるこども・子育て支援

- 多様な人々が地域社会の中で居場所を持ち、希望を持って地域で暮らし、働き、活動することができる地域づくり
- こどもまんなか社会の形成を通じた地域の未来を担う若者世代を惹きつける地域づくり(転職なき移住や二地域居住等の受け皿づくり、魅力的な仕事の創出、良質な住宅の円滑な確保支援)
- 若者が希望の持てる地域社会、女性が活躍できる地域社会、高齢者が健康に暮らせる地域社会、障害者が安心してその能力を発揮できる地域社会、外国人が地域の一員として共生する地域社会に向けた取組の総合的な推進

### 地域づくりに求められる人材

- 地域への誇りと愛着に基づく当事者意識の醸成を図り、住民を含めた民間主体の主体的な参加を促進
- 地域リーダーや地域デザインを担う人材、デジタル人材など、様々な役割を担う人材の発掘・育成

### 地域教育の強化

- 社会教育施設を拠点とした地域の教育力の向上
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進や、地域と連携した探究学習、農山漁村体験等の推進
- 大学、高等専門学校等と連携した地域人材の育成

### 中間支援機能の強化

- 様々な地域組織や人材が連携した地域づくりをコーディネートする中間支援組織の育成

### 地方・大都市間の人材還流、マッチング機能の強化

- 転職なき移住、副業・兼業等による地方への人材環流の促進
- 地域に不足するマネジメント人材やデジタル人材等に関する地域と企業等のマッチング促進

### 関係人口の重要性の高まり

- 多様な関わり方が可能であるため裾野が広く、多彩な人材がなりうる関係人口の拡大・深化

## 民間の力を最大限活かした新しい公共の領域拡大

### 地域力を結集して地域経営の仕組みを強化する観点から、地域づくりへの民間、企業の主体的参加拡大

- 企業版ふるさと納税や地域活性化起業人等の制度も活用しながら、ソーシャルベンチャー等の社会的課題の解決に取り組む企業等と地域が連携した地域課題解決の取組を推進する。
- ソーシャルボンド(調達した資金が社会的課題の解決に貢献するプロジェクトのみに充当される債券)やインパクト投資(経済的利益の獲得のみでなく社会的課題の解決を目指した投資)の活用を促進する。
- コンセッションを始めとするPPP/PFIの拡大、地域活性化への活用等による地域と民間企業等が連携した取組を推進する。